

4D Product Line

インストールガイド
Windows[®] and Mac[™] OS



ACI

4D Product Line インストールガイド Windows® and Mac™ OS

Copyright© 1985 - 2000 ACI S.A.

All rights reserved.

このマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更されることがあり、いかなる変更に関しても ACI SA は一切の責任を負いかねます。このマニュアルで説明されるソフトウェアは、本製品に同梱の License Agreement（使用許諾契約書）のもとでのみ使用することができます。

ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を、ライセンス保持者がこの契約条件を許諾した上での個人使用目的以外に、いかなる目的であれ、電子的、機械的、またどのような形であっても、無断で複製、配布することはできません。

4th Dimension、4D Server、4D、4D ロゴ、ACI ロゴ、およびその他の ACI 製品の名称は、ACI SA の商標または登録商標です。

Microsoft と Windows は Microsoft Corporation 社の登録商標です。

Apple, Macintosh, Mac, Power Macintosh, Laser Writer, Image Writer, ResEdit, QuickTime は Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

注意

このソフトウェアの使用に際し、本製品に同梱の License Agreement（使用許諾契約書）に同意する必要があります。ソフトウェアを使用する前に、License Agreement を注意深くお読みください。

序章	はじめに	5
	4D Product Line について	5
	はじめに	6
	動作環境	6
	パッケージの内容	6
	このマニュアルについて	7
	マニュアルの内容	7
	表記方法について	7
	クイックインストール	8
第 1 章	ハードディスクへの製品のインストール	11
	4D Product Line ナビゲーションウインドウ	12
	4D Product Line からの新製品のインストールについて	13
	Serial 番号のない製品や	
	アップデートのインストールについて	16
	4D Client とネットワークコンポーネントの	
	インストールについての注意	17
	ドキュメントのインストールと参照	18
第 2 章	4D 環境にプラグインをインストールするには	21
	4D 環境にプラグインをインストールするための原則	21
	4D 環境にプラグインをインストールするには	22
	Windows 上でプラグインをインストールするには	22
	Mac OS 上でプラグインをインストールするには	24
	クロスプラットフォームで使用する 4D Server の環境設定	25
	Windows 上の 4D Server 環境設定について	26
	Mac OS 上の 4D Server 環境設定について	27
	プラグインの自動ダウンロードについて	29

第 3 章	ライセンスの更新	3 1
	4th Dimension にシリアル番号を追加するには	32
	4D Server に Expansion Serial 番号を追加するには	34
	コンパイルまたは 4D Engine が組み込まれた アプリケーションを配付するには	36

4D Product Line について

このマニュアルは、4D Product Lineのインストールとライセンスの更新方法について説明したものです。

4D Product Lineは、4th Dimensionと4D Server(WindowsとMac OS両プラットフォーム上で、スタンドアロンやクライアント/サーバデータベース、インターネット/イントラネットの開発運用環境)や、4D環境を高めるための他のソフトウェアやプラグインから構成されています。インストールの手順は購入したパッケージによって異なります。

注意：プラグインは、4th Dimensionや4D Serverにインストールして使用するソフトウェアです。その用途以外では動作しません。プラグインを使用するためには、ハードディスクにインストールしなければなりません(詳細は、第1章「ハードディスクへの製品のインストール」を参照してください)。

また、プラグインを使用するためには4D環境をセットアップする必要があります(詳細は、第2章「4D環境にプラグインをインストールするには」を参照してください)。

はじめに

動作環境

インストールをする前に、ご使用のハードウェアとソフトウェアが下記の必要条件を満たしているかどうかを必ず確認してください：

	Windows	MacOS
CPU	Pentium90以上	Power Macintosh 6100以上
OS	Windows 95, 98 or NT	MacOS 7.6.1以上
メモリ	32MB以上 (48MB以上推奨)	20MB以上 (32MB以上推奨)
モニタ	14インチモニタ、256色	13インチモニタ、256色

注意：プラグインを使用する場合は、マシン上で動作しているプラグイン 1 つにつき約 2 MB のメモリを必要とします（この容量はプラグインによって異なります）。

パッケージの内容

パッケージには、次のものが含まれます。

4D Product Line のインストール用 CD-ROM。

ドキュメント CD-ROM。

『インストールガイド』と『はじめよう 4D』マニュアル（印刷物）。

ユーザ登録カード。

郵送またはファックスでご返送ください。

ハードディスクに製品をインストールする際にオンライン登録を選択し、登録内容を入力していただくことができます。

このマニュアルについて

このマニュアルは、WindowsとMac OSの両プラットフォームでのACI製品のインストール方法や4D環境のセットアップ方法について記述されています。4D環境とは、クライアント/サーバとして参照する場合には4D Serverのことを示し、またスタンドアロンとして参照する場合には4th Dimension、4D Runtimeまたは4Dで作成されたアプリケーションのことを示します。

このマニュアルで説明されている手順や情報は、4D Product Lineのすべての製品に適用されます。特定の製品で違いがある場合は注意でお知らせしています。特定の製品のインストールについては、その製品のインストールフォルダに入っている「はじめに」ファイルに記載されています。

マニュアルの内容

このマニュアルは、次の3つの章から構成されています。

第1章：「ハードディスクへの製品のインストール」

4D Product Lineからのインストール方法について記述されています。

第2章：「4D環境にプラグインをインストールするには」

4D環境で使用されるプラグインのインストールについて記述されています。

第3章：「ライセンスの更新」

ACIのアプリケーションとプラグインのユーザライセンスの更新について記述されています。

表記方法について

このマニュアルでは、内容を理解しやすいように表記を統一しています。

次のような表記が使用されています：

注意：このように強調されたテキストは、注釈やショートカットを提供します。

4D Server：本マニュアル中では、4th Dimension、4D Server/Clientは、単に4th Dimensionと称します。2つの製品の操作の違いは、4D Serverの注釈で説明されています。4D Serverの注釈は、4D Server及び4D Clientの操作が4th Dimensionと異なる部分だけを記述しています。

このような注意書きは、重要な情報に対する注意やデータが失われる可能性のある状況に対する注意を警告しています。

クイックインストール

インストールガイドを詳しく読む時間がなく、取急ぎ製品のインストールを行いたい場合の手順を以下に示します。

インストール時に入力するSerial番号もしくはExpansion番号によって、4D ProductLineのCD-ROMからインストール可能な製品のリストが表示されます。例えば、4th DimensionのSerial番号を入力した場合は、4D Serverはインストール可能なリストに表示されません。

インストールするもの	インストール手順	参照
4th Dimension 6.5	4D Product Line CD-ROMから、4th Dimension 6.5をインストールします。	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」
+プラグイン	<ul style="list-style-type: none"> - 4D Product Line CD-ROMから、プラグインをインストールします。 - Win4DX (Windows上) またはMac4DX (Macintosh上) という名前のフォルダをデータベースのストラクチャと同じレベル、またはシステムフォルダのACIフォルダ (MacOS上では初期設定フォルダ) に配置します。 - プラグインファイルを作成したフォルダにコピーします。 	第2章「4D環境にプラグインをインストールするには」
4D Server 6.5	<ul style="list-style-type: none"> - 4D Product Line CD-ROMから、4D Server 6.5とネットワークコンポーネントをサーバマシン上にインストールします (これらの製品をインストールするには、対応するSerial番号を入力する必要があります)。 - 4D Product Line CD-ROMから、4D Client 6.5とネットワークコンポーネントをそれぞれのクライアントマシンにインストールします。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」
+追加ライセンス	4D Serverを起動し、「ライセンス番号更新...」をファイルメニューから選択し、「Expansion番号の追加」をクリックし、Expansion Serial番号を入力してください。	第3章「ライセンスの更新」
+プラグイン	<ul style="list-style-type: none"> - 4D Product Line CD-ROMから、サーバマシンにプラグインをインストールします (Expansion Serial番号を入力します)。 - Win4DX (Windows上) またはMac4DX (Macintosh上) という名前のフォルダをデータベースのストラクチャと同じレベル、またはシステムフォルダのACIフォルダ (MacOS上では初期設定フォルダ) に配置します。 - プラグインファイルを作成したフォルダにコピーします。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」、第2章「4D環境にプラグインをインストールするには」

インストールするもの	インストール手順	参照
+ クロスプラットフォーム環境 (WindowsとMac OS)	<ul style="list-style-type: none"> - 4D Product Line CD-ROMから、WindowsとMac OS版のプラグインをサーバマシン上にインストールします (Expansion Serial番号を入力します)。 - Win4DXとMac4DXという名前の2つのフォルダをデータベースのストラクチャと同じレベル、またはシステムフォルダのACIフォルダ (MacOS上では初期設定フォルダ) に配置します。 - WindowsプラグインをWin4DXフォルダに、Mac OSのプラグインをWin4DXにコピーします。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」、第2章「4D環境にプラグインをインストールするには」
4D Insider, 4D Compiler, 4D Backup (スタンドアロン)	<ul style="list-style-type: none"> - 4D Product Line CD-ROMから、プログラムをインストールします。 - 4D Backupまたは4D Insiderをインストールする際は、ネットワークコンポーネントもインストールします。 	第1章「ハードディスクへの製品のインストール」

この章はWindowsとMac OSの両プラットフォームについて説明をしています。

4D Product Lineの製品のインストールとアップデートについて

ドキュメントのインストールについて

この章は、4つの主な節で構成されています。

4D Product Lineナビゲーションウインドウ

この節は、4D Product Lineのオートランが実施されている時に表示される4D Product Lineナビゲーションウインドウの作業とオプションについて記述されています。

4D Product Line CD-ROMから新製品をインストール

この節は、初めて製品のインストールをする方法について記述されています。

Serial番号のない製品やアップデートのインストール

この節は、マイナーアップグレードとSerial番号のない製品（4D Client、ネットワークコンポーネント等）のインストールについて記述されています。

ドキュメントのインストールと参照

この節は、製品CD-ROMと同梱されているドキュメントCD-ROMの使用方法について記述されています。

4D Product Line ナビゲーションウインドウ

4D Product Line CD-ROM は、CD-ROM ドライブに挿入された時に自動的に実行されるオートランを含んでいます。オートランが実行されると、いくつかの選択項目を表示するナビゲーションウインドウを表示します。

4D Product Line CD-ROM のナビゲーションウインドウを表示するためには

- 1 マシンのCD-ROM ドライブに 4D Product Line CD-ROM を挿入する。
4D Product Line CD-ROM オートランが自動的にナビゲーションウインドウを表示します。

Windows

CD-ROM が挿入されるとすぐにナビゲーションウインドウが表示されます。

オートランを実行させない場合は、CD-ROM を挿入時に Shift キーを押してください。

Mac OS

コントロールパネルの「QuickTime」で「CD-ROM を自動的に再生する」のオプションが選択されている場合は、CD-ROM が挿入されるとすぐにナビゲーションウインドウが表示されます。オプションが選択されていない場合は、CD-ROM の中のオートランアイコンをダブルクリックして実行してください。

- 2 実行したい項目をクリックして選択する。
ナビゲーションウインドウで選択できる項目は次の通りです。



4D 製品のインストール：インストールプログラムを実行します。

デモ版：デモ版のインストールプログラムを実行します。

<http://www.aci.co.jp>：Web ブラウザを起動し、ACIのwebサイトに接続します。

サードパーティ製品：サードパーティの製品を表示します。

ソリューションパートナー：ACIのソリューションパートナーを紹介したデータベースを開きます。

エクスプローラ：CDの内容を表示します。

終了：ナビゲーションウインドウを閉じます。

4D Product Line からの新製品のインストールについて

この節は、WindowsとMac OSの両プラットフォームで、ご使用のマシンに4D Product Line から、ACI製品を初めてインストールする方法を記述しています。

下記に詳しい説明が記述されています。

4D Product Line から初めてインストールするには

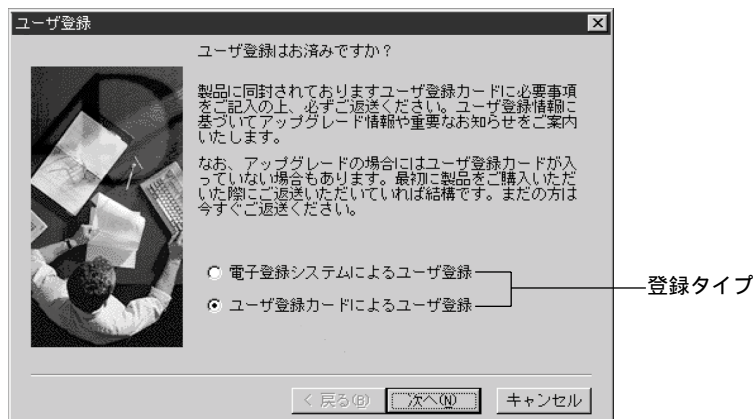
4D Product Line CD-ROMからプラグインをインストールするには

この節は、ACIから提供されるSerial（シリアル）番号がつけられている製品のインストールについて記述されています。マイナーアップデートやSerial番号のない製品のインストールについては、次節「Serial番号のない製品やアップデートのインストールについて」を参照してください。

初めて製品をインストールするには

- 1 ナビゲーションウインドウで「4D製品のインストール」ボタンをクリックする。
インストールプログラムが実行されます。
- 2 ソフトウェアライセンスの同意書が表示される。
内容をよくご覧いただき、同意されるようでしたら、「はい(Yes)」をクリックします。
「キャンセル」をクリックすると、インストール作業が中止されます。

3 登録方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。



登録カードをACIにご返送いただくと、ACIの提供するサービスやACI製品についての定期的な情報を得ることができます。

電子登録システムによるユーザ登録を選択すると、一度に複数のACI製品の情報登録ができます。入力された情報はテキストファイルに保管され、次回、同一マシンにACI製品をインストールした際にその情報を自動的に読み込みます。

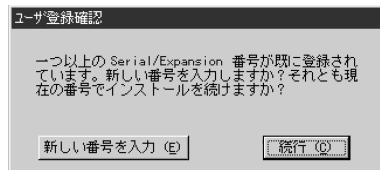
4 電子登録システムによるユーザ登録を選択すると、登録データを入力するためのダイアログボックスが数回表示される。

最初のダイアログボックスは、住所、個人、会社の情報を入力します。4番目 (Windows) または 3番目 (Mac OS) のダイアログボックスは Serial (シリアル) / Expansion (エクспанション) 番号を入力します。

5 ユーザ登録カードによるユーザ登録を選択する。

初めてv6.5製品をインストールする場合は、「ユーザ情報」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスに名前や会社名、Serial / Expansion 番号を入力します。

既にv6.5製品をインストールしている場合は、新しいSerial / Expansion 番号を入力するか、もしくは既に入力されている番号を使用するかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。



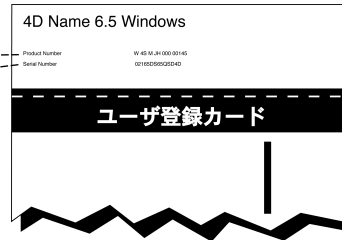
プラグインやプログラムを追加でインストールする場合は、「新しい番号を入力」ボタンをクリックし、次へ進みます。追加する製品がインストールの最後のダイアログに表示されます。詳細は、次節「Serial 番号のない製品やアップデートのインストールについて」を参照してください。

6 「ユーザ情報」ダイアログボックスにデータを入力する。

製品パッケージの中に Serial / Expansion 番号が印刷されたユーザ登録カードが入っています。

電子登録システムによるユーザ登録を選んだ場合は、Product (プロダクト) 番号と Serial / Expansion 番号を入力してください。

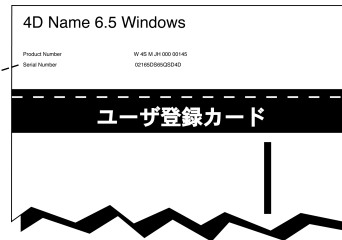
ユーザ登録カード



次に入力した情報を保存する場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

ユーザ登録カードによるユーザ登録を選んだ場合は、Serial / Expansion 番号を入力してください。

ユーザ登録カード



注：Serial 番号と Expansion Serial 番号の詳細は、第3章「ライセンスの更新」を参照してください。

7 「次へ」ボタンをクリックする。

ここで入力された Serial / Expansion 番号により、インストール可能な製品がリストアップされます。同じマシン内に既に ACI 製品をインストールしている場合は、その製品もリスト内に含まれます(詳細は、次節「Serial 番号のない製品やアップデートのインストールについて」を参照してください)。リストの中からインストールする製品を選択します。

- 8 インストールしたい製品だけが選択されていることを確認する。
リスト上でそれぞれの製品を選択または選択解除することができます。
製品についての情報を表示するには、Windows ではリストの製品名を、Mac OS では情報アイコンをクリックしてください。
- 9 OK ボタンをクリックする。
選択した製品をインストールします。

Serial 番号のない製品やアップデートのインストールについて

少なくとも1つのv6.5の製品をインストールすると、そのインストールされたマシンにSerial 番号が記憶されます。そのマシンに再度インストールしようとする、既に入力済みのSerial 番号を表示し、この製品に追加するのかそれとも新しくインストールするのかを尋ねます。例えば、製品のマイナーアップグレードをしたい場合には、新しいSerial / Expansion 番号を入力せずに、その製品の新しいバージョンを選択するだけで済みます。

この節は、以下の項目について4D Product Line CD-ROMからインストールする方法について記述されています。

Serial 番号のない製品

これらの製品は、Serial 番号の入力を必要としない製品のことで。

マイナーアップデート

新しいSerial 番号の入力を必要としないアップデートのことで。同じマシンにすでにインストールされているプログラムも含まれます。

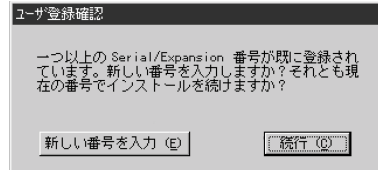
4D Product Line から製品のアップデートやSerial 番号の必要のない製品をインストールするには：

- 1 前節の「4D Product Line からの新製品のインストールについて」のステップ1とステップ2を行う。
- 2 ユーザ登録カードによるユーザ登録'を選択して「次へ」ボタンをクリックする。

v6.5のSerial 番号のある製品をインストールしたことがない場合は、ユーザ情報入力ダイアログが表示されます。名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

1. すでに登録済み、またはSerial 番号を必要としない製品をインストールする場合は、ユーザ登録カードによるユーザ登録を選択します。

v6.5のSerial番号のある製品をインストールしている場合は、アラートが表示されます。このアラートはSerial / Expansion番号が検出されていることを知らせるためのものです。



続行ボタンをクリックしてください。

- 3 カスタムを選択して、「次へ」ボタンをクリックする。
セレクトコンポーネントのダイアログが表示されます。
- 4 前節「4D Product Lineの新製品のインストールについて」のステップ8とステップ9に従ってインストールを完了させる。

4D Client とネットワークコンポーネントのインストールについての注意

4D Clientとネットワークコンポーネントは、それぞれのクライアントマシンにインストールする必要があります（ネットワークコンポーネントとは4D製品のネットワーク部分に關係するソフトウェアのことです）。

ネットワークコンポーネントをインストールする必要がある場合は：

4D Backupのミラー機能を使用する場合、ネットワークコンポーネントは4Dマシンとミラーマシン両方にインストールされなければなりません。

4D Insiderを使用して4D Serverデータベースを開く場合、ネットワークコンポーネントは4D Insiderが稼働している時にマシンにインストールしなければなりません。

4DのWeb機能を使用する場合、TCP/IPコンポーネントのみが必要とされます。

ドキュメントのインストールと参照

ACIのアプリケーションとプラグインのドキュメントは、2つのオンラインフォーマットで提供されています：

Adobe Acrobat (PDF)とHTMLです。全てのマニュアルはドキュメントCD-ROMに入っています。ハードディスクにドキュメントをインストールするか、CD-ROMから直接参照するかを選択できます。

注意：オンラインヘルプは、それぞれのアプリケーションやWindowsとMac OS両方のプラットフォームプラグインに入っています。

- ・ オンラインヘルプファイルはアプリケーションと同時にインストールされます。
- ・ Mac OSでMac OS オンラインヘルプファイルを使用するためには、Mac OS用のMicrosoft Helpをインストールする必要があります。Microsoft Helpは4D Product Line CD-ROMに入っています。

ドキュメントCD-ROMは、CD-ROMドライブに挿入されると自動的に実行されるオートランを含んでいます。オートランが実行されると、いくつかの選択項目を表示するナビゲーションウインドウを表示します。

ドキュメントをインストールまたは参照するためには

- 1 CD-ROMドライブにドキュメントCD-ROMを挿入する。

ナビゲーションウインドウが自動的に表示されます：

Windows

CD-ROMドライブにCD-ROMが挿入されたとすぐにカスタムナビゲーションウインドウが表示されます（オートランを実行させない場合は、CD-ROMを挿入時にShiftキーを押してください）。

Mac OS

コントロールパネルの「QuickTime」で「CD-ROMを自動的に再生する」のオプションが選択されている場合は、CD-ROMが挿入されるとすぐにナビゲーションウインドウが表示されます。オプションが選択されていない場合は、CD-ROMの中のオートランアイコンをダブルクリックして実行してください。

注意：HTMLドキュメントは、英語・フランス語・ドイツ語で書かれています。日本語のマニュアルはPDFファイルをご覧ください。

- 2 実行したい項目をクリックして選択する。
ナビゲーションウィンドウで選択できる項目は次の通りです。



<http://www.aci.co.jp> : Web ブラウザを稼働し、ACI web サイトに接続します。

HTML ドキュメント : ハードディスクに HTML ドキュメントをインストールまたは参照することができます。HTML ドキュメントを参照するには、先にブラウザをインストールする必要があります。

PDF ドキュメント : PDF ドキュメントをインストールまたは参照することができます。Acrobat Reader がインストールされていない場合は、Acrobat のインストールをクリックしてインストールします。

インストールを選択した場合は、インストールするマニュアルを選択するダイアログが表示されています。

エクスプローラ : CD-ROM の内容を表示します。

終了 : ナビゲーションウィンドウを閉じます。

4D Product Lineのプラグインは4D環境に組み込まれ、4Dに追加の機能を提供するものです。一度プラグインがハードディスクにインストールされたら、データベース上で使用するために4D環境にインストールする必要があります。プラグインのインストールについては、第1章「ハードディスクへの製品のインストール」を参照してください。

この章では、以下の節で構成されています。

4D環境にプラグインをインストールするための原則

この節は、4D環境にプラグインをインストールするための基本的な必要条件について記述されています。

4D環境にプラグインをインストールするには

この節は、4D/4D Server環境にプラグインをインストールする方法について記述されています。

クロスプラットフォームで使用する4D Serverの環境設定

この節は、クロスプラットフォームの4D Server環境にプラグインをインストールする方法について記述されています。

4D 環境にプラグインをインストールするための原則

プラグインは、プラグインファイルをWin4DX(Windows)やMac4DX(Mac OS)という名前のフォルダにコピーすることによって、4D環境にインストールされます。

これらのフォルダは2つの異なる場所に配置することができます。

データベースのストラクチャファイルと同じ階層に配置する

この場合、プラグインはそのデータベース上でのみしか使用できません。

システムフォルダの中にあるACIフォルダに配置する

この場合、プラグインはそのマシン上で開かれる各データベースで使用できます(4Dv6.5以降)。

1. Windowsのシステムフォルダへのパスは、"C:¥Windows¥ACI"です(C:¥Windowsがシステムフォルダの場合)。

Mac OSのシステムフォルダへのパスは、"MacHD:システムフォルダ:初期設定:ACI"です(MacHDはハードディスクにつけられる代表的な名称です)。

注意：4D Internet Commandsのプラグインは、システムフォルダにインストールされます。

プラグインの用途によって、どの場所にインストールするかを選択できます。

プラグインを複数使用する場合、すべてを同じ場所にインストールする必要はありません。システムフォルダのACIフォルダの中にいくつかのプラグインをインストールし、データベースと同じ階層に他のプラグインをインストールすることもできます。

両方の場所に同じプラグインがインストールされた場合、データベースストラクチャと同じ階層のプラグインが優先され、使用されます。

注意：サードパーティのプラグインを使用する場合は、システムフォルダ、あるいはデータベースと同じ階層のフォルダのうち、どちらか1つにインストールされなければなりません。

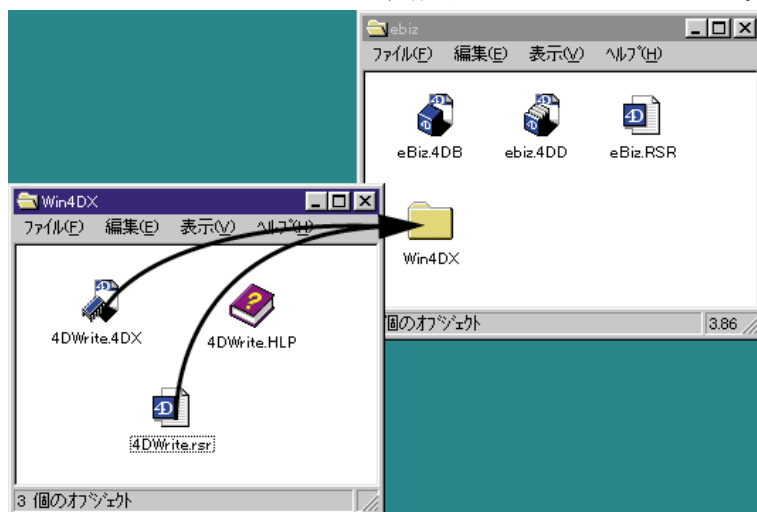
4D 環境にプラグインをインストールするには

Windows 上でプラグインをインストールするには

インストールを始める前に、4Dのアプリケーションが終了していることを確認してください。アプリケーションが起動するとプラグインがロードされます。

4D環境にACIプラグインをインストールするには

- 1 新規フォルダを作成する。
- 2 フォルダに“Win4DX”と名前をつけます。
- 3 オリジナルのプラグインファイルを、作成したフォルダにコピーする。



Windowsのプラグインファイルは、通常、次の代表的なファイルで構成されています：

Plug-in Name.4DX、Plug-in Name.RSR、Plug-in Name.HLP（オプション）

ハードディスクにプラグインをインストールすると、プラグインファイルは

¥Plug-Ins¥Plug-in Name¥Win 4DX

に配置されます。

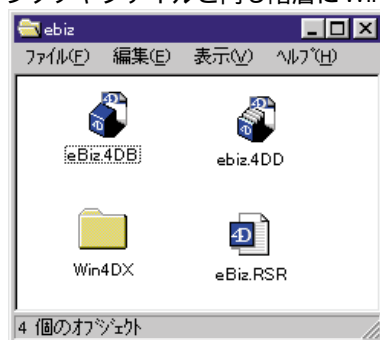
4D Product Line 上にある Win4DX フォルダを直接コピーすることもできます。

注意：Windows で、ファイルをコピー（移動ではなく）するためには、Ctrl キーを押しながらアイコンをコピーしたいフォルダにドラッグしてください。

Windows でインストーラを使用せずに CD-ROM からファイルをコピーした場合、プロパティウインドウでファイルに読み取り専用属性がついていないことを確認してください。

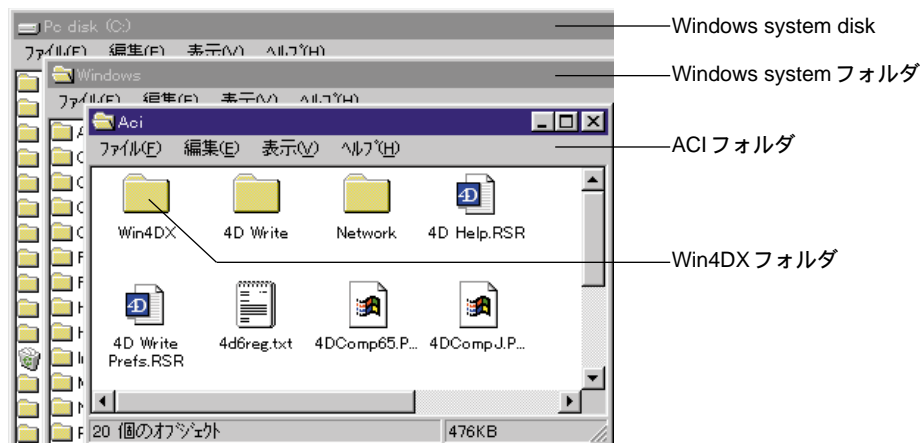
4D Server：プラグインヘルプファイルはクライアントによってアップロードされ、クライアントマシンの C:¥Windows¥ACI¥Database Name フォルダにコピーされます。

- 4 プラグインを特定のデータベース上でのみ使用したい場合は、そのデータベースストラクチャファイルと同じ階層に Win4DX フォルダを配置する。



または、

そのマシン上にある各々のデータベースでプラグインを使用したい場合は、システムフォルダの中にある ACI フォルダに Win4DX フォルダを配置する。



注意：Win4DX フォルダがACI フォルダ内にすでにある場合は、Win4DX フォルダにプラグインファイルだけをコピーしてください。

5 4th Dimensionまたは4D Serverを起動する。

4D Product Line インストーラを使ってプラグインをインストールした場合は、4th Dimensionまたは4D Serverを起動すると、すぐにプラグインが使用できます。

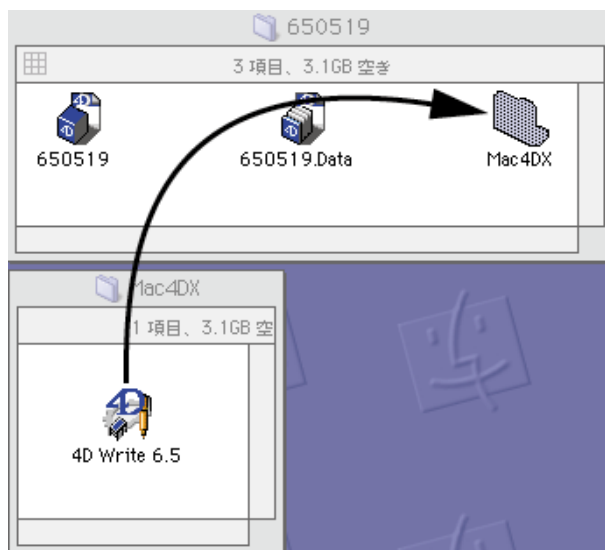
4D Product Line インストーラを使用していない場合は、4Dの起動時にSerial 番号またはExpansion Serial 番号を入力する必要があります。詳細は、第3章「ライセンスの更新」を参照してください。

Mac OS 上でプラグインをインストールするには

インストールを始める前に、4Dのアプリケーションが終了していることを確認してください。アプリケーションが起動するとプラグインがロードされます。

4D環境にACI プラグインをインストールするには

- 1 新規フォルダを作成する。
- 2 フォルダに“ Mac4DX ”と名前を付ける。
- 3 オリジナルのプラグインファイルを、作成したフォルダにコピーする。



ハードディスクにプラグインをインストールすると、プラグインファイルは
： Plug-Ins ： Plug-in Name ： Mac4DX
に配置されます。

4D Product Line 上にある Mac4DX フォルダを直接コピーすることもできます。

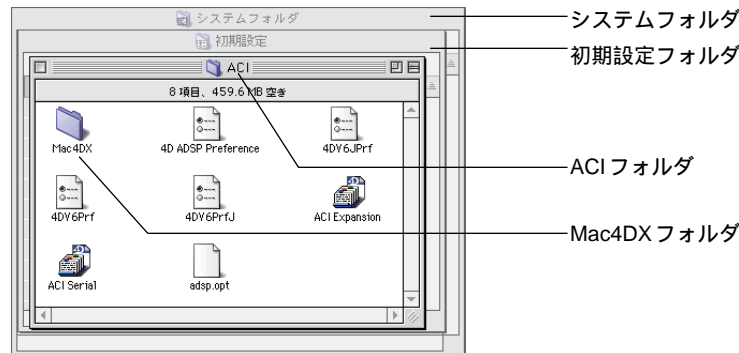
注意：Mac OS 上では、プラグインのエイリアスを使用することもできます。

- 4 プラグインを特定のデータベース上で使用したい場合は、そのデータベースストラクチャファイルと同じ階層に Mac4DX フォルダを配置する。



または、

そのマシン上にある各々のデータベースでプラグインを使用したい場合は、システムフォルダ内の ACI フォルダに Mac4DX を配置する。



注意：Mac4DX フォルダが ACI フォルダ内にすでにある場合は、Mac4DX フォルダにプラグインファイルだけをコピーしてください。

- 5 4th Dimension または 4D Server を起動する。

4D Product Line インストーラを使ってプラグインをインストールした場合は、4th Dimension または 4D Server を起動するとすぐにプラグインが使用できます。

4D Product Line インストーラを使用していない場合は、4D の起動時に Serial 番号または Expansion Serial 番号を入力する必要があります。詳細は第3章「ライセンスの更新」を参照してください。

クロスプラットフォームで使用する 4D Server の環境設定

4D Server が Windows と Mac OS の両クライアントによって使用される場合、両プラットフォーム上でプラグインが使用できるようにサーバマシンをセットアップする必要があります。

4D Product Line からプラグインをインストールする場合は、インストーラで Mac OS と Windows の両バージョンを選択することができます。クロスプラットフォーム環境でデータベースを使用する場合は、必ず Windows と Mac OS の両バージョンを選択してください。

両バージョンを選択した場合は、2つのフォルダがインストールされます。

Windows上では、Win4DXとMac4DXフォルダが¥Plug-Ins¥Plug-inName¥にインストールされます。

Mac OS上では、Win4DXとMac4DXフォルダがPlug-Ins : Plug-inNameにインストールされます。

注意：

- ・ Mac OS上では、Win4DXフォルダにインストールされるプラグインファイルはWindowsのファイルになります。
- ・ いくつかのプラグインは1つのプラットフォームでしか使用できない場合があります。

Windows 上の 4D Server 環境設定について

WindowsのサーバにMac OSクライアントから接続してプラグインを使用する場合は、以下の操作を行います。

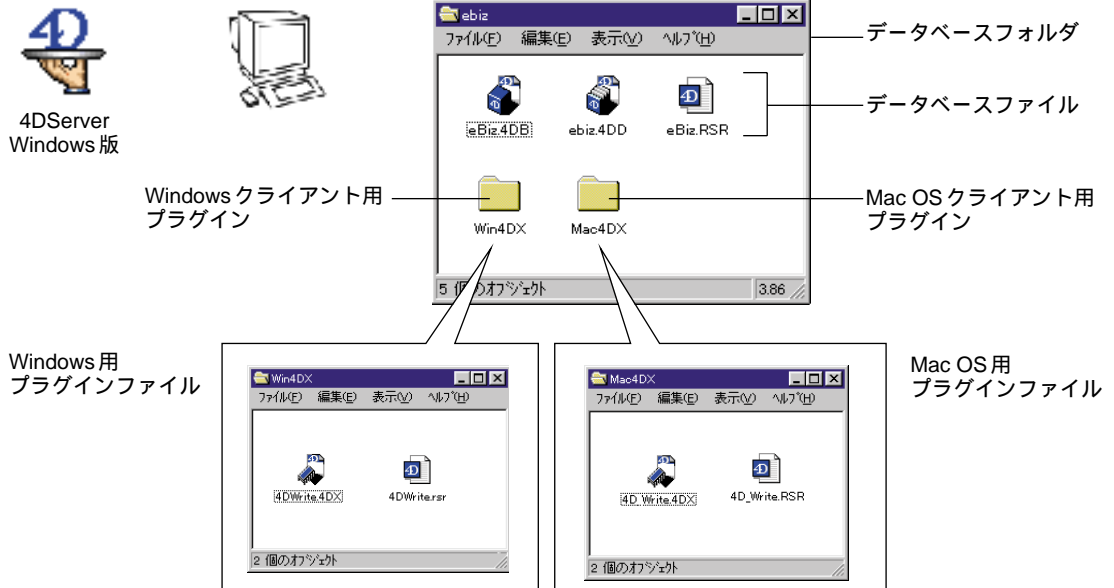
Mac OSのクライアントからプラグインを使用するには：

- 1 Windows（サーバマシン）のデータベースストラクチャと同じ階層にMac4DXフォルダ（Mac OS用のプラグイン）を配置する。
Mac4DXフォルダは、Win4DXフォルダと同じ階層に配置されなければなりません。

注意：Windows上に配置されるMac OS用のプラグインは、“ Plug-inName.4Dx ”と“ Plug-inName.RSR ”の2つのファイルから構成されています。

これでWindowsとMac OSの両クライアントからデータベースに接続し、プラグインを使用することができます。

この操作は次の図のようになります。



または、

Windows システムフォルダの ACI フォルダの中に Win4DX フォルダがあるので、同じ場所に Mac4DX フォルダを配置する。

ACI フォルダの中に配置すると、そのマシン上で開かれているすべてのデータベース上に接続したクライアントで、それぞれのプラグインが使用できます。

一般的なクロスプラットフォームのアーキテクチャと操作については、この章の「プラグインの自動ダウンロードについて」の項の「クロスプラットフォームクライアント / サーバアーキテクチャでのプラグインのダウンロード」の図で説明されています。

注意：コンパイルされたデータベースの環境設定については、『4D Compiler リファレンス』を参照してください。

Mac OS 上の 4D Server 環境設定について

Mac OS のサーバに Windows クライアントから接続してプラグインを使用する場合は、以下の操作を行います。

Windows のクライアントにプラグインをインストールするには：

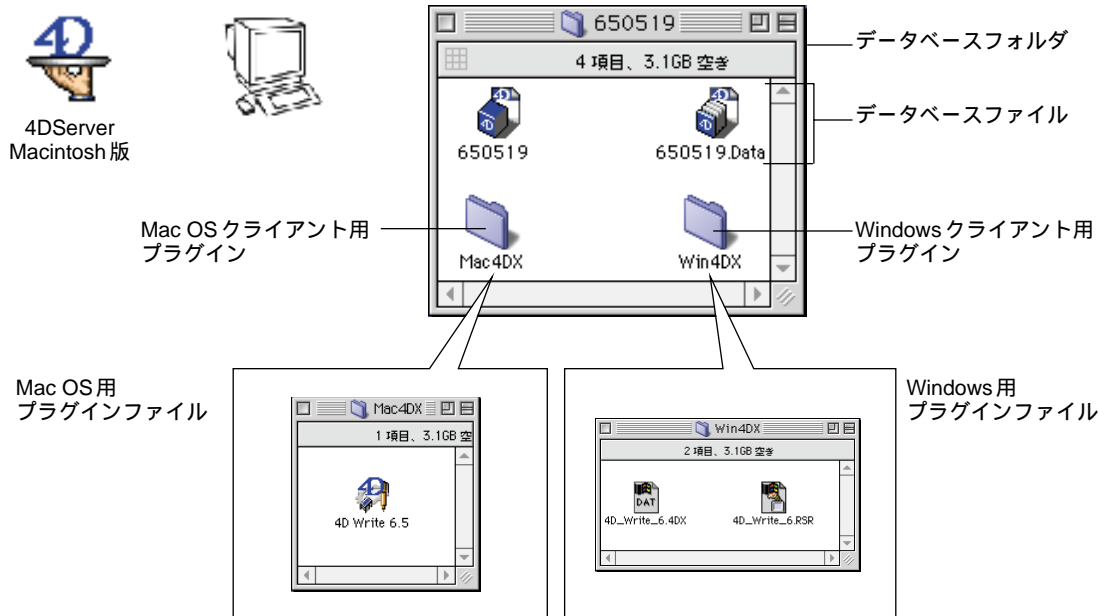
- 1 Macintosh (サーバマシン) のデータベースストラクチャと同じ階層に Win4DX フォルダ (Windows 用のプラグイン) を配置する。

Win4DX フォルダは、Mac4DX フォルダと同じ階層に配置されなければなりません。

注意：Mac OS 上に配置される Windows 用のプラグインは、“ Plug-inName.4DX ”、“ Plug-inName.RSR ”と “ Plug-inName.hlp ” (オプション) の 3 つのファイルから構成されています。

これで Windows と Mac OS の両クライアントからデータベースに接続し、プラグインを使用することができます。

この操作は次の図のようになります。



または、
システムフォルダの初期設定のACIフォルダの中にMac4DXフォルダがあるので、同じ場所にWin4DXフォルダを配置する。

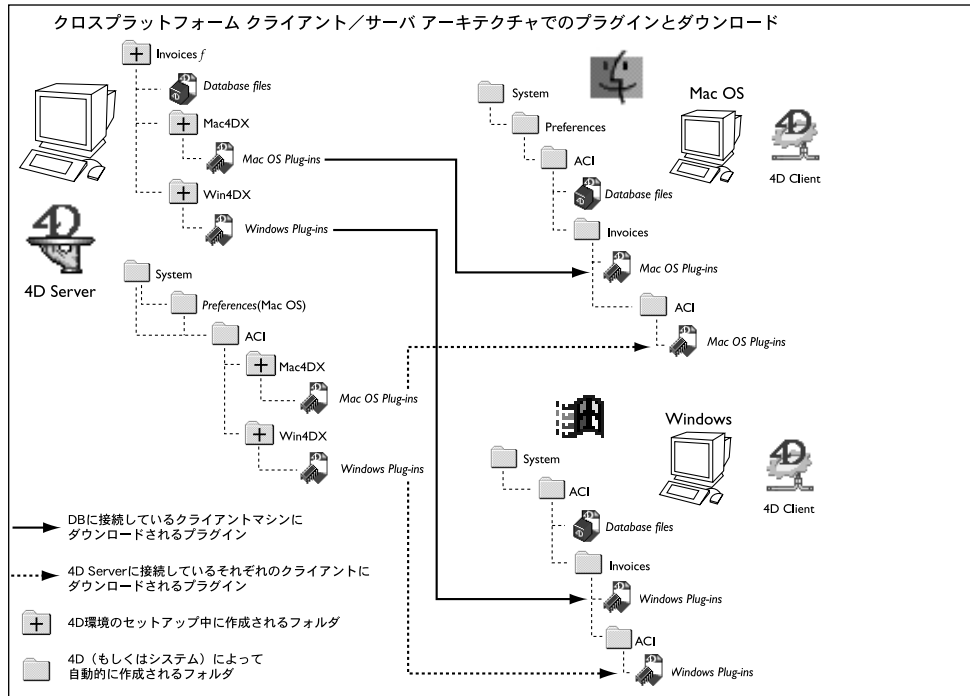
ACIフォルダの中に配置すると、そのマシン上で開かれているすべてのデータベース上に接続したクライアントで、それぞれのプラグインが使用できます。

一般的なクロスプラットフォームのアーキテクチャと操作については、この章の「プラグインの自動ダウンロードについて」の項の「クロスプラットフォームクライアント/サーバアーキテクチャでのプラグインのダウンロード」の図で説明されています。

注意：コンパイルされたデータベースの環境設定については、『4D Compiler リファレンス』を参照してください。

プラグインの自動ダウンロードについて

サーバマシンに配置されている Win4DX や Mac4DX フォルダの中身は、クライアントからサーバマシンに接続した際に自動的にクライアントマシン上にコピーされます。クライアントマシンにコピーされる場所は、サーバマシン上と同じ場所になります（システムフォルダ又はデータベースフォルダ）。自動ダウンロードの操作は次の図のようになります。



注意：プラグインへのアクセスは、4D のパスワードシステムを使うことによって制限することができます。

4D Serverの独立したプラットフォームについての詳細は、『4D Server リファレンス』を参照してください。

この章は、4th Dimensionまたは4D ServerにSerial / Expansion 番号を追加または更新する方法について記述されています。

4D Product Line インストーラからインストールする際にSerial / Expansion 番号を入力します(詳しくは、第1章「ハードディスクへの製品のインストール」を参照してください)。

一度4D環境がセットアップされると、すぐにインストールされた製品を使用することができます(詳しくは、第2章「4D環境にプラグインをインストールするには」を参照してください)。

その他、インストール後にライセンスのアップグレードを必要とする、以下のようなケースがあります：

4D Internet Extensionや4D Server Internet Extensionを使用して、4DのWeb機能を活かしたい場合

4D Product Line インストーラを使ってインストールしていない、新しいプラグインを使用したい場合

4D Serverやプラグインにユーザライセンスを追加したい場合

この章は、3つの主な節から構成されています：

4th Dimension (スタンドアロン) にSerial 番号を追加するには

この節は、4D環境に4D Internet Extensionやプラグイン、またはACIアプリケーションのSerial 番号を追加する方法について記述されています。

4D Serverにシリアル番号を追加するには

この節は、4D Server環境に4D Server Internet Extentsionやプラグイン、またはACIアプリケーションのSerial 番号を追加する方法について記述されています。

コンパイルまたは4D Engineが組み込まれたアプリケーションを配付するには
この節では単体で実行可能なコンパイルや配布の条件について述べられています。

4D Internet Extension について

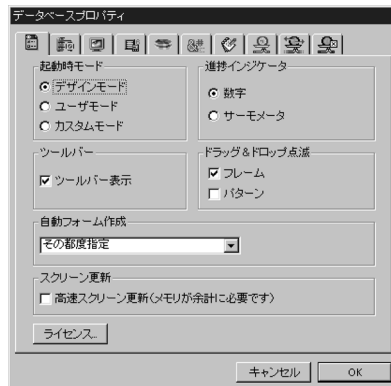
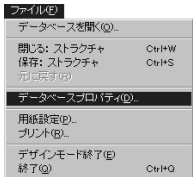
v6.5 から 4D の Web Server 機能は、エクステンションとして提供されています：
4D Internet Extension(4th Dimension 用) と 4D Server Internet Extension(4D Server 用)。

これらのオプションがインストールされていない場合に、4D の Web Server 機能を使用すると、デモンストレーションモード (1 時間の制限) として動作します。エクステンションがインストールされると、4D Web Server に無制限に接続することができます。

4th Dimension にシリアル番号を追加するには

4D Internet Extension や新規プラグイン、または新規アプリケーションの Serial 番号を入力するには：

- 1 4th Dimension を起動して、データベースを開く。
特定のデータベースを選択しても手順は同じです。
- 2 デザインモードでファイルメニューからデータベースプロパティを選択し、データベースプロパティのダイアログに表示されているライセンスボタンをクリックする。



または、
次のキーを押す。

Windows: Ctrl+Shift+F8

MacOS : Command+Shift+F8

ライセンス管理ダイアログが表示されます。マシンにインストールされた各 Serial 番号とプラグインがインストールされていれば、それに該当する各 Serial 番号が表示されます。

リストの右端の数字は、その製品を同時に使用できるユーザライセンスの数です。



注意：スタンドアロンの4Dアプリケーションでは、**CHANGE LICENSE** コマンドを使用してライセンス管理ダイアログを表示することができます。詳細は、『4Dランゲージリファレンス』を参照してください。

- 3 Serial 番号の追加ボタンをクリックする。
Serial 番号入力ダイアログが表示されます。
- 4 ACI より提供された新しいSerial 番号を入力して、OK ボタンをクリックする。
入力された番号が有効であれば、リストに表示されます。
階層リストを拡げて、使用できるライセンス数を確認することができます。



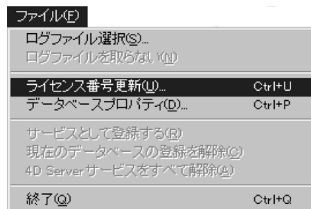
注意：v6.5 から、4D Compiler と 4D Insider を含むすべての Serial 番号は 4th Dimension または 4D Server で管理されるようになりました。4th Dimension または 4D Server 上でダイアログを表示し、新しいアプリケーションの Serial 番号を入力することができます。

4D Server に Expansion Serial 番号を追加するには

この節は、クライアントやプラグイン、または4D Server Internet Extension¹ にユーザライセンスを追加する Serial 番号の入力について記述されています。

4D Server に 4D Server Internet Extension や新規ユーザライセンス、または新規プラグインを追加するには：

- 1 4D Server を起動してデータベースを開く。
特定のデータベースを選択しても手順は同じです。
- 2 4D Server のファイルメニューからライセンス番号の更新を選択する。



または
次のキーを押す。

Windows: Ctrl+Shift+F8

MacOS : Command+Shift+F8

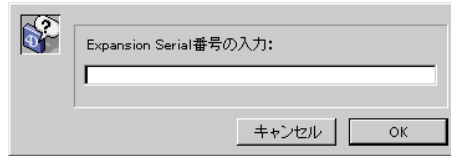
ライセンス管理ダイアログが表示されます。

このダイアログは、4D 環境にすでに入力されている Serial 番号や Expansion Serial 番号を表示します。



1. 詳細は、前述の「4D Internet Extension について」の項をご参照してください。

- 3 Expansion Serial 番号追加ボタンをクリックする。
Expansion Serial 番号入力ダイアログが表示されます。



- 4 ACI より提供された新しい Expansion Serial 番号を入力して、OK ボタンをクリックする。
入力された番号が有効であれば、ユーザ、プラグイン、あるいは 4D Server Internet Extension の新しい番号が Expansion Serial 番号の項目の下の表示領域に表示されます。

注意：v6.5 から、4D Server には以下のものが含まれます：

- 4D Client 2 接続数
- 4D Backup、4D Internet Commands

これらのプラグインの接続数は、常に 4D Client の接続数と同じです。

これらすべてのデフォルト接続数は、Expansion Serial 番号の入力を必要としません。

Expansion Serial 番号は、製品の隣の数字がアプリケーションやプラグインを同時に使用できるクライアントの数を表します。

注意：v6.5 から、4D Compiler と 4D Insider を含むすべての Serial 番号は 4th Dimension または 4D Server で管理されるようになりました。4th Dimension または 4D Server 上でダイアログを表示し、新しいアプリケーションの Serial 番号を入力することができます。

コンパイルまたは 4D Engine が組み込まれたアプリケーションを配付するには

この節は、単体で実行可能なアプリケーションを配付したいディベロッパの方々のためのものです。単体で実行可能なアプリケーションとは4D Engineが組み込まれているコンパイルされたアプリケーションのことをいいます。

注意：実行可能なアプリケーションの作成についての詳細は、『4D Compiler リファレンスガイド』を参照してください。

ACI プラグインを組み込む実行可能なアプリケーションを配付するためには、これらのプラグインの OEM (Original Equipment Manufacturer) ライセンスを所有しなければなりません。OEM ライセンスは、配付用に ACI の製品を組み込むことを許可し、無制限のライセンスを提供します。OEM ライセンスの詳細については、ACI までお問い合わせください。

4D Engine が組み込まれている場合は、4D Compiler はマシン上で検出された Serial 番号を持つすべてのプラグインをプログラムの中に配置します。ユーザマシンで実行可能なアプリケーションを起動する際は、Serial 番号が組み込まれている各々のプラグインが使用可能となります。

実行可能なアプリケーションをコンパイルするマシンに、必ず OEM ライセンスが入力されているかどうかを確かめてください。

注意：コンパイル後は、4D Compiler はどの OEM ライセンスが 4D Engine に組み込まれているかを指摘します：

- ・ 編集ウインドウの中で、OEM ライセンスのリストは、“警告”として表示されます。
- ・ 同じリストは、データベースの変換されたストラクチャファイルを含むフォルダの中に自動的に作成される、“LicenseLog.txt” ファイルでも見ることができます。